国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチだより（2025 年 8 月号）

人類は戦争で大きなものを失い、大きなことを学んできたはずです。しかし、いまだに世界の各地で紛争が絶えません。非常に悲しい現実です。一人ひとりの人権意識によって人権が尊重され、平和な社会が築かれます。平和を望まない人はいません。私たちが直接何かできることはありませんが、自分ごとに置き換えて、想いを馳せる、人を大切にする日々の人権意識が大切です。

戦後８０年～戦争の惨禍を繰り返さないために

今年 8 月 15 日は、日本が第二次世界大戦で終戦（敗戦）となってから８０周年になります。大戦中の経験を語れる方が次第に少なくなる中で、その伝承を特に若い世代が学ぶ機会を確保することは、平和教育に取り組むうえでとても大切だと思います。

その学びに資する施設として、本県では、「山梨平和ミュージアム」（甲府市朝気 1-1-30、℡055-235-5659）という民営の博物館があります。そこでは、「甲府空襲の実相」や「戦時下の暮らし」などのテーマで常設展示を行うほか、戦争と平和に関する講演会をほぼ毎月開催しています。（※１）

また同館では、県人による戦争体験記を５年毎に取りまとめて公表しています。代表を務める浅川保氏（元・県立高校教諭）は、県内各地の学校等からの要請を受けて出前講義も行っています。当時の山梨県民の戦争体験やその後の平和運動などを学びたい方は、ぜひ同館を訪ねることをお勧めします。

それから終戦直前の 1945 年 8 月 6 日に広島、9 日に長崎に、アメリカ軍が原子爆弾を投下し、その年のうちに約２１万人が亡くなりました。その後に原爆症で亡くなったり長期にわたり後遺症に苦しんだ人も同じくらい以上いると言われています。

それから現在まで、実戦で核兵器が使われる事態は幸いにして起きていませんが、今後とも核戦争が起こらないという保証はありません。現在、世界の核保有国が持つ使用可能な核兵器（核弾頭）の数は、長崎大学核兵器廃絶研究センターの研究によれば、9,615 発（退役・解体待ちを除く）もあります。（※２）これは、広島に落とされた原爆の約 14 万６千発余に相当する破壊力です。

近年、ロシアによる核使用の示唆や、北朝鮮の核実験・ミサイル発射、中国の核戦力の拡大など、「核兵器が実際に使われるかもしれない」という懸念が、再び私たちの前に立ちはだかっています。1970 年に発効した核拡散禁止条約（略称・NPT）や 2021 年に発効した核兵器禁止条約等の国際条約にもかかわらず、核弾頭の実数はこの 7 年間で 364 も増えています。

自国が核兵器を持つことや「核の傘」に入ることが他国からの侵略を防ぐ決め手となるという「核抑止論」の考え方が、世界の核軍縮、核廃絶を進めるうえで大きな障壁になっています。核保有国の偶発的なミスで核戦争寸前まで行った事例も過去にいくつかあります。世界を核戦争の危機から救うため何が大切なのか真剣に問い直すべきと思います。

（※１）「山梨平和ミュージアム」ホームページ
http://ypm-japan.jp/index.html

（※２）長崎大学・核兵器廃絶研究センター「世界の核弾頭データ・2025 年版」
https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/topics/48367

今後の予定

人権啓発パネル展　9月4日（木）～ 9月17日（水）甲府市東公民館、甲府市西公民館にて、人権啓発パネル展を開催します。

活動報告

人権啓発パネル展　8月7日（木）～ 8月20日（水）甲府市北東公民館、リッチダイヤモンド総合市民会館において、人権啓発パネル展を開催いました。

人権啓発映画鑑賞会　8月9日（土）リッチダイヤモンド総合市民会館において、人権啓発映画鑑賞会を開催しました。

人権啓発講演会　8月6日（水）甲府市上下水道局、甲府市環境部において、人権啓発講演会を開催しました。

人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。

国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチ　会長：横山隆史
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨　理事長：横山美香
〒400-0031　山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室
TEL. 055-243-8563　FAX. 055-243-8564　http://yamanashi.yihrc.or.jp/　E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

＜協賛＞
山梨県
甲府市
甲斐市

協賛企業：（株）メガ、（株）成心設備、西関東開発（株）、（株）ウィルマート、（株）R&C、（株）渡辺工業所、甲府市管工事協同組合、（株）とちの木、（株）ACL、（株）エスティケイ

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府南中学校二年生女子

今日の会で人権とは何かを知ることができました。人権とは幸せと命を守るために持っている権利。また、その幸せはまわりを不快にさせるものであってはいけないということも分かりました。私は杉藤さんの話を聞いて誰かを助けるための一歩が踏み出せていないと感じました。誰か困っている人を助ければ助けた人も助けられた人も幸せだと感じられるのに、分かっていても恥ずかしさなどが前にさてしまいます。ですが杉藤さんの話を聞くなかで小さな女の子でも勇気をだして行動しているのだし、もっと危険な場所にいって まで人を助けている人がいるのに、私が目の前の人に手を差し伸べられないというのはあまりにも自分が小さいなと思い、まずは友達から、そして知らない人にも困っていたら声をかけ行動していきたいと強く思いました。

人を助けようとする輪がどんどん広がっていくために、私自身も優しさをつなげていける人物になるため努力していきます。

甲府南中学校二年生女子

今日の人権移動教室で、人権は自分の命と幸せを守るためのものだということを学びました。様々な話があった中でも、私が特に印象に残っているのは、自分たちは、本当にたくさんの人たちに助けられ、支えてもらって生きているということです。普段はあまり実感することはないけど、改めて考えてみるとたくさんの人たちのおかげで、安心して改適に生活できているんだなと思いました。また、国境なき医師団（MSF）の方々についての話も印象に残りました。困っている人たちのために、物資を届けたり、誰もが嫌がる死体の処理などを懸命にやっているのを知って、本当にすごいなと思いました。

人権を守るためには、他人のことを思いやり大切に思うことが大切だと学びました。なので、私も第一歩として普段の生活で、相手の気持ちを考えて行動したり、困っている人に勇気を出して声をかけてみたりしていきたいです。